

2020 年度 修士学位審査請求論文

中国語における新型受動文に関する考察

CHEN YIFAN

72131800054

立命館大学大学院言語教育情報研究科

2020 年度

要旨

本稿は中国語の新型受動文の成立条件に関する研究である。近年、中国語においては、「被自殺」「被高鉄」など、他動性の低い動詞や名詞などを使った「被〇〇」構文が数多く見られるようになった。このような構文を本稿では「新型受動文」と呼ぶことにする。従来型受動文と異なり、これらの表現は文脈や背景を考慮すると、「被自殺」は「自殺させられる」、「被高鉄」は「高速列車に乗らされる」という意味になる。これまで構文文法の視点からこの文型を分析した研究が多くなされてきたが、動詞の文法的属性に基づく研究はなかった。本研究はアンケートの方法を使い、この新型受動文の成立条件を明らかにすることを目標とする。

新型受動文の使用状況と個人の属性との関係に関しては、以下の傾向があることがわかった。年齢が高い人の方が新型受動文の許容度が高い。学歴が高くなれば新型受動文の許容度は低くなる。よく SNS を使う人の新型受動文の許容度は比較的高い。

動詞の文法的属性と新型受動文の成立の関係に関しては、以下の傾向があることがわかった。自動詞は他動詞より新型受動文に使いやすいが、全く使えない自動詞も存在する。新型受動文は出現した当初自動詞からしか派生できなかったが、今は他動詞からも派生できるようになっている。アスペクトに関しては、動作動詞が一番新型受動文を形成しにくい。達成と到達の動詞はほぼ同じレベルで、状態より新型受動文を形成しやすい。動詞の意味における内的誘因と外的誘因に関しては内的誘因を持つ動詞が比較的新型受動文を形成しやすい。一番はっきり言えるのは、従来型受動文が存在しない動詞は従来型受動文が存在する動詞より新型受動文を形成しやすいことである。

キーワード： 中国語 受動文 「被〇〇」構文 語彙的アスペクト

目次

要旨	ii
目次	iii
1. はじめに	1
2. 先行研究	1
2.1. 中国語における従来型受動文	1
2.1.1. 受動文の定義と構造	2
2.1.2. 受身文と動詞	3
2.1.3. 自動詞の受身文	3
2.2. 新型受動文	4
3. アンケートの設計	7
3.1. 動詞の語彙的アスペクト	7
3.2. 動詞の意味における内的誘因と外的誘因	7
3.3. 動詞のリストアップ	8
3.4. 名詞と形容詞の場合	9
3.5. 設問の形式とアンケートサイト	9
4. 調査結果と個人属性基の成立の比率	10
4.1. 年齢別の成立の比率	12
4.2. 学歴別の成立の比率	15
4.3. SNS 使用状況別の成立の比率	18
5. 動詞文法的属性に基づく分析	20
6. おわりに	23
謝辞	23
参照文献	24

1. はじめに

本稿は中国語の新型受動文の成立条件に関する研究である。近年、中国語においては、「被自殺」「被高鉄」など、他動性の低い動詞や名詞などを使った「被〇〇」構文が数多く見られるようになった。このような構文を本稿では「新型受動文」と呼ぶことにする。従来型受動文と異なり、これらの表現は文脈や背景を考慮すると、「被自殺」は「自殺させられる」、「被高鉄」は「高速列車に乗らされる」という意味になる。これまで構文文法の視点からこの文型を分析した研究が多くなされてきたが、動詞の文法的属性に基づく研究はなかった。本研究はアンケート調査を使い、82名を対象としてこの新型受動文の成立条件を明らかにすることを目標とする。

新型受動文の使用状況と個人の属性との関係に関しては、以下の傾向があることがわかった。年齢が高い人の方が新型受動文の許容度が高い。学歴が高くなれば新型受動文の許容度は低くなる。よくSNSを使う人の新型受動文の許容度は比較的高い。

動詞の文法的属性と新型受動文の成立の関係に関しては、以下の傾向があることがわかった。自動詞は他動詞より新型受動文に使いやすいが、全く使えない自動詞も存在する。新型受動文は出現した当初自動詞からしか派生できなかったが、今は他動詞からも派生できるようになっている。アスペクトに関しては、動作動詞が一番新型受動文を形成しにくい。達成と到達の動詞はほぼ同じレベルで、状態より新型受動文を形成しやすい。動詞の内的誘因と外的誘因においては内的誘因を持つ動詞が比較的新型受動文を形成しやすい。一番はっきり言えるのは、従来型受動文が存在しない動詞は従来型受動文が存在する動詞より新型受動文を形成しやすいことである。

本研究の構成は第2章では従来型受動文と新型受動文の先行研究を紹介し、第3章では、アンケートを設計する際に採用した動詞を選ぶ基準を説明する。第4章では調査結果と個人属性の関係について分析した。第5章では調査結果と動詞の文法的属性の関係について分析した。

2. 先行研究

この章では、従来からある中国語受動文と新型受動文の先行研究を紹介する。2.1では、従来型受動文の定義、構造、動詞との関係、そして自動詞の受動文についての先行研究を紹介する。2.2では、新型受動文についての先行研究を紹介する。

2.1. 中国語における従来型受動文

この節では、まず従来型受動文の定義と典型的な構造を紹介する。その後、主に従来型受動文と動詞の関係に焦点を当てて紹介する。

2.1.1. 受動文の定義と構造

受身文は中国語の特殊文型として、多くの学者が研究してきた。中国語の受動文は、日本語の受動文のように接尾辞の付加による形態的变化が述部に生じない。

- (1) a. 木村さんが時計を修繕した。 (木村 1982)
b. 時計が木村さんに修繕された。
- (2) a. 木村 修 好 了 手表。 (木村 1982)
木村さん 修繕する 直す た 腕時計
木村さんが腕時計を直した。
- b. 手表 被 木村 修 好 了。
腕時計 被 木村さん 修繕する 直す た
腕時計が木村さんによって修繕された。

例文(1)は日本語の能動文と受動文のペアで、動詞の形態が変化したのは明らかである。それに対して、(2)の中国語の例文では、動詞である「修」が変化しておらず、「被」という中国語の受動文のマーカ―が動作主の前に追加されただけである。

劉(1987)は、中国語の受動文について、意味的には主語が述語動詞が表す動作を受ける構文であると指摘している。一方、意味的な特徴を満たしていても構造的に受動文の特徴を持っていない文は受動文の研究対象にはならないとも指摘している。これは、同様に被動作者が主語の文でも「被」を含む構文は受動文と見なされるが、非対格述語文は受動文と見なされていないことを意味する。本稿も「被」を含む受動文を考察対象とする。

木村(1992)は中国語受身文の典型的な一つのタイプが(3)に示す構造であるとし、「主語の位置に動作の影響を被る対象を表す構成素(sNP)が立ち、動作の担い手を表す構成素(bNP)が前置詞“被、讓、叫”のいずれか(被)に伴われて非主語の位置に立つタイプの構文」と定義した。

- (3) sNP + 被 + bNP + VP
椅子 让 小王 拉倒了
椅子 被 王君 引き倒された
椅子が王君に引き倒された。

2.1.2. 受身文と動詞

中国語の受動文に使える動詞に関して、範(1990)は他動詞に限定されると指摘した。さらに、動詞は結果を表す必要があることを指摘した。動詞だけでこの条件を満たせない場合、後ろに結果を示す補語をつけることで受動文が成立する場合が多い。

(4) a. 他 被 繁重的 活儿 累 垮 了。 (範 1990)

彼 被 きつい 仕事 疲れさせる 崩れる た

彼はきつい仕事に疲れて崩れた。

b. ? 繁重的 活儿 累 垮 了 他。

きつい 仕事 疲れさせる 崩れる た 彼。

きつい仕事が彼を疲れさせ崩した。

(5) a.* 他 被 繁重的 活儿 累 了。 (範 1990)

彼 被 きつい 仕事 疲れさせる た

彼はきつい仕事に疲れた。

b.* 繁重的 活儿 累 了 他。

きつい 仕事 疲れる た 彼

きつい仕事が彼を疲れさせた。

「殺す」のような動詞は指示物が死んだという結果を含意しているので、動詞だけでも受動文を成立させることができる。一方、例文(4)と(5)の「累(疲れさせる)」は結果を含意していないので、動詞単独では受動文が成立できない。しかし、「疲れさせる」の後ろに「垮(崩れる/崩す)」をつけることによって、「体が崩れるぐらい疲れた」という結果を含意することになり、受動文が成立できる。

2.1.3. 自動詞の受身文

前述のように、中国語受身文の述語部分は結果や主語への影響を表している。他動詞は自動詞よりこの意味的な特徴を持ちやすいので、中国語受身文の動詞はほとんど他動詞である。しかし、自動詞を使う受身文も存在する。

(6) a. 张三 被 他 太太 哭 得 没 了 主意。

張三 被 彼 奥さん 泣く 助詞[程度] ない た 考え

張三がどうすればいいのかわからなくなるぐらい奥さんに泣かれた。

- b. 张三 的 太太 哭 得 他 没 了 主意。
 張三 の 奥さん 泣く [程度] 彼 ない た 考え
 張三の奥さんは彼がどうすればいいのかわからなくなるぐらい泣いている。
 (張 2006)

例文(6)は、a が受動文で b が能動文である。述語動詞は「哭」で「泣く」の意味で、もとより他者に働きかける性質を持っていない。「泣く」の主体は他者がある状態に至らしめる力を持っていない。そのため、b は不自然になる。しかし、奥さんの泣き声で、張さんが落ち着けなくなり、いい方法を考え出せない現実は起こりえる。そこで、発話されたのが a のような文である。張(2006)によると、a の成立は the CG Lexicon-Construction Interaction Theory で説明できる。この理論では、構文の文法は動詞で決まるのではなく、構文の意味特徴が決める。受身構文での被動作者の意味役割を持つ項は構文の項であり、動詞が同じ意味役割の項を持っているかどうかと関係なく、構文がこの項を提供する。

張(2006)は、中国語受身文は述語部分に「施為力」(他者に働きかける力)、「致変性」(変化を引き起こす力)、「完結性」(accomplishment)の三つの特徴が備わっていないと指摘した。(6)の自動詞「泣く」は一項動詞で、受動者がいないため、「施為力」と「致変性」の条件を満たさない。しかし、述語に補語や目的語を加えることによって、述部全体に「施為力」と「致変性」の性質を与え、受動文を成立させることができた。つまり、述語部分の意味が「泣く」から「どうすればいいのかわからなくなるぐらい泣く」に変わり、他者に働きかけられるようになり、受動文が成立できたと説明されたのである。

2.2. 新型受動文

2007年に、大学側が勝手に企業と契約を結んで、卒業生を就職させた事件があった。その当事者がネット掲示板で書いた文章が(7)である。また、例文(8)の背景は、地方政府の幹部が耕地を違法に占有し、ホワイトハウスと同じ見目の高級オフィスビルを建てたことを李国富が告発し、その後逮捕され、牢獄で弁護士と会う前に自殺したと報道されたという事実である。

- (7) 我 就业 啦, 就业 啦, 太 兴奋 了,
 私 就職する た 就職する た とても 興奮する ている
 而且 是在 不明 真相 的 情况 下 被 就业 的

しかも が で ない わかる 真実 の 状況 で 被 就職する のだ
私が就職したぞ、就職したぞ、とても興奮している。しかも何にも知らないうちに就職させ
られた！

(https://tieba.baidu.com/p/949870787?red_tag=2842857093)

- (8) 安徽阜阳市颍泉区 豪华办公楼 “白宫” 举报人 李国富 被 自杀
安徽阜阳市颍泉区 高級オフィスビル ホワイトハウス 告発人 李国富 被 自殺する
安徽阜阳市颍泉区にある高級オフィスビル「ホワイトハウス」を告発した李国富は自殺したと思
われた。

(<http://bbs.tianya.cn/post-free-1376585-1.shtml>)

文法的に見ると、従来型受動文のほとんどで他動詞が用いられるのと異なり、新型受動文には自動詞がよく使われ、形容詞や名詞を使うこともある(王 2009a、王 2009b)。穆・駱(2016)が行った81例の新型受動文に対する統計のデータによると、他動詞から新型受動文が派生された例が15例(19%)、残り66例(81%)は自動詞、他動詞、名詞、形容詞から派生された新型受動文である。意味的には、新型受動文の主語は動作を受ける方ではなく、動作の担い手である(憑 2010)。意味も従来型受動文の「～られる」から「させられる」((7)の例を参照)、「思われる」((8)の例を参照)になり、不本意などの意味を含意している(陳 2010)。語用論的には被の後ろに続く単語は二文字で、新聞の見出しなどでよく使われる(張 2010)。そして、新型受動文の生成メカニズムについて、構文文法から分析した研究も複数存在する。

穆・駱(2016)は従来型受動文を基準にした場合非文法的とも見える新型受動文の成立理由は構文自体からの強制(coercion)であると指摘した。強制は構文が構文を構成する語彙の意味に影響を与える作用である。この作用によって語彙の意味に変化が引き起こされる。例えば、「被自殺」における自殺は自動詞でありながら、「脅迫を受け、自殺を余儀なくされた」などの意味を表すことになる。これらの自動詞はあたかも他動詞のような振る舞いをするようになる。

また、王(2012)は新型受動文の意味用法を検討する際に、「被自殺」を例として挙げ、四つの意味があると指摘した。彼によると、「被自殺」は下記に挙げる四つの意味が考えられる。

- a. 何かの圧力で自殺する。
- b. 他殺の可能性が高いが、自殺とされる。
- c. 元気であるのに自殺したとされる。

d. 抹消される。

例文の(9)、(8)、(10)、(11)はそれぞれ a、b、c、d に当たる。

(9) 当然、这些 官员 是“自杀” 还是“被 自杀”，笔者 无法 考证。

もちろん これら 官員 が 自殺 か 被 自殺 筆者 できない 考証する

もちろん、これらの官員は本当に自殺したのか、それとも何かの圧力で自殺したのか、筆者には考証することができない。

(10) 杨丞琳 “被 自杀” 三年 了。

楊丞琳 被 自殺する 三年 た

楊丞琳が自殺したとされたから3年は経った。

(11) 白岩松 网上 “被 自杀”， 回应 称 “生活 还 那样”。

白岩松 ネット 被 自殺する 答える と 生活 まだ そのまま

白岩松はネットで(炎上して)降板されたが、生活がそのままと答えた。

(9)の背景には、共産党内の反腐敗運動が進むこととともに、捕まった幹部の数も徐々に増えて行き、まだ捕まっていない幹部にとってストレスが溜まり、やがて自殺するということがある。そして(10)の背景には、2007年からこの芸人が自殺したというデマが現れ、途絶えないという事実がある。(11)の背景は、このニュースキャスターが不謹慎の発言で降板されることになり、現状を聞かれた時にこう答えた。この場合の「自殺」は比喩的なもので、「降板」の意味に近いので、「降板」と訳すことにした。

その他、穆・駱(2016)は新型受動文の意味が「不本意の行為を表す」、「承認されない事態を表す」、「非事実を表す」三つあると指摘した。それぞれ王(2012)の a、b、c と対応している。路(2013)は新型受動文が「余儀なくされる」と「～と言われる」二つの意味を表すと指摘した。それぞれ王(2012)の a、b と c と対応している。

そして王(2012)はまた主に今まで出た例文を中心に語用論の視点から新型受動文を分析した。尹(2012)は新型受動文の出現を中国語受動文の二次拡張と呼んでいる。

これまで、構文文法の視点からすでに現れた例文を使い、この文型の成立理由や生成メカニズムを分析した研究が多くなされてきた。また、穆・駱(2016)のように、現存の新型受動文のデータに基づいて、品詞レベルで新型受動文の成立範囲を記述した研究もある。しかし、動詞の語彙的ア

スペクトや文法的属性を基準に動詞を分類し、それぞれの許容度を検討し、もっと細かいレベルで新型受動文が成立する傾向を分析する研究はなかった。また、個人の属性に基づく新型受動文の許容度の研究もなかった。本研究はアンケートの方法を使い、この「新型受動文」の成立条件を調査したいと考えている。

3. アンケートの設計

前節で述べたように、新型受動文が現れてからまだ時間が短く、使用は定着していない。話者によって、使用範囲が異なる可能性が十分にある。従って、ある属性の集団に限らず、全般的にアンケートを採ることが新型受動文の使用実態を分析する際に必要である。

3.1. 動詞の語彙的アスペクト

アンケートを作る際に、幾つかの標準を参考した。Vendler (1957)と Dowty (1979)によると、動詞の語彙的アスペクトは状態(State)、動作(Activity)、到達(Achievement)、達成(Accomplishment)の四種類に分けられる。2.1.2 で述べたように、従来型受動文に使う動詞は結果を表す必要がある。動詞だけでこの条件を満たせない場合、後ろに結果を示す補語をつけることで受動文を成立させる。語彙的アスペクトの観点から見ると、述語動詞は達成のアスペクトであることが要求される。新型受動文に使う動詞もこのような特徴を持っているのかを検証するため、これを一つの標準として参考した。

3.2. 動詞の意味のおける内的誘因と外的誘因

Smith (1970)は使役交替(Causative Alternative)を研究する際に、自動詞が他動詞用法を持っているのを決める意味的な要素の一つとして、Internal Causation と External Causation を提案し、分析した。この分析では、動詞は内的(Internal)か外的(External)のいずれかの性質を持っていることになる。break や open のような動詞が出来事を描く場合、その出来事を起こす何らかの外的誘因に制御されている。そして、laugh や speak のような動詞はこのような性質をもっておらず、出来事に登場する人だけがその出来事を制御している。

新型受動文の主語は動作の担い手であり、本人の不本意などの意味を含意している。従って、外的誘因に誘発されない動詞、即ち内的誘因を持つ動詞は新型受動文と意味的に整合しない可能性がある。動詞の意味のおける内的誘因と外的誘因は新型受動文の成立とどのような関係があるのかを研究するため、これをもう一つの標準にした。

3.3. 動詞のリストアップ

この二つの標準に基づいて。アンケートで使う動詞を以下のようにリストアップした。

表 1 アンケートで使う動詞

品詞	アスペクト	下位分類	内的・外的	動詞/和訳	
自動詞	状態	所属	内的	属于/属する	
		感情		悲伤/悲しい	
		感覚		困/眠い	
	動作			内的	哭/泣く
					笑/笑う
					打嗝/ゲップする
					发光(sparkle)/輝く
	到達	状態変化		内的	开花(bloom)/花が咲く
				起床/起きる	
		位置変化	外的	就业/就職する	
	達成			内的	痊愈/全快する
外的				融化/溶ける	
他動詞	状態	感情	内的	爱/愛する	
		所有		拥有/持つ	
		知識		知道/知る	
	動作			内的	说(speak)/話す
				外的	切(cut)/切る
					洗/洗う
					推/押す
	到達			内的	忘记/忘れる
				外的	弄丢/無くす
	達成			内的	画一幅画/絵を一枚描く

まず、状態の自動詞を3つの下位分類に分けて動詞を挙げた。調べた限りでは、外的誘因を持つ動詞が状態の自動詞に存在しないため、全て内的誘因を持つ動詞になっている。動作の自動詞では、「泣く」を従来型受動文に使える典型的な自動詞の一つとして挙げてみた。「笑う」はその反対語である。輝く(sparkle)は Smith (1970)が本で挙げた放自動詞の一つである。他の英語で示した動詞も Smith (1970)の例を借用している。

3.4. 名詞と形容詞の場合

名詞や形容詞の例も実際存在しているので、形容詞と名詞も調査項目に入れた。例文は以下のような文である。(12)は名詞述語に「被」をつけた例文で、(13)は形容詞述語に「被」をつけた例文である。

- (12) 市民 们 被 高铁。 (剑兰园 2011)
市民 たち 被 高速鉄道

市民たちは高速鉄道を利用させられた。

(http://blog.sina.com.cn/s/blog_511680ea0102dy9r.html)

- (13) 网友 表示 被 平均。 (人民日报 2016)
ネットユーザ 表明する 被 平均的

ネットユーザは平均させられたと表明した。

(<http://opinion.people.com.cn/n1/2016/0114/c1003-28049940.html>)

(12)の背景には元々普通の列車が町で止まるが、政府が調整してから、高速の列車しか止まらない状態になり、市民たちはより高い料金を払わないといけなくなったという事実がある。そして、(13)の背景は政府が国民平均貯金は3万元だと発表した、3万元の貯金を持っていない人が沢山いることが平均化されたことにより見えなくさせられたという思いがある。

3.5. 設問の形式とアンケートサイト

動詞ごとにシチュエーションと例文を作り、調査協力者に例文が成立するかどうかを選択してもらう設問を設定した。成立しない場合、自分が成立すると思っ ている文を書いてもらうかたちにした。

例えば、「属する」の場合は以下のようなものである。

1. 属于/属する

场景:我本是 A 公司的员工, 为了刺探商业机密, 被上司要求辞职后加入 B 公司。

例文:我现在“被隶属”于 B 公司。

A.成立

B.不成立()

この例文の状況設定は、私は A 社の社員だが、B 社の商業秘密を探るため、上司に辞めさせられて B 社に入社した。そして例文は「私が B 社に属させられる」に対応する新型受動文である。

そして、新型受動文の使用は年齢や SNS の使用状況と関係があると考えているので、フェイスシートで個人情報以外に、ネットでニュースを読む頻度と SNS の使用頻度も回答してもらうことにした。

アンケートは問巻星(wjx.cn)というサイトを使って、ネットで作成した。問巻星はアンケート調査用の専門サイトであり、アンケートが完成した後、URL を生成して調査協力者に SNS を通じて送って記入してもらった。このサイトには様々な統計の機能もあり、それらの機能を使って結果を分析した。

アンケートの詳細は付録に付ける。

4. 調査結果と個人属性基の成立の比率

全部で女性 44 人と男性 38 人、計 82 人のデータを集めた。全体的な調査結果は以下のようになる。

表 2 全体の使用状況

品詞	アスペクト	下位分類	内的・外的	動詞/和訳	成立の比率	
自動詞	状態	所属	内的	属于/属する	48%	
		感情		悲伤/悲しい	48%	
		感覚		困/眠い	50%	
	動作			内的	哭/泣く	16%
					笑/笑う	22%
					打嗝/ゲップする	48%
					发光(sparkle)/輝く	40%
	到達	状態変化	内的	开花(bloom)/花が咲く	40%	

				起床/起きる	49%
			外的	就業/就職する	84%
		位置変化	外的	掉下去/落ちる	34%
	達成		内的	痊愈/全快する	49%
			外的	融化/溶ける	57%
他動詞	状態	感情	内的	爱/愛する	39%
		所有		拥有/持つ	32%
		知識		知道/知る	37%
	動作		内的	说(speak)/話す	40%
			外的	切(cut)/切る	21%
				洗/洗う	43%
				推/押す	45%
		画/描く		38%	
	到達		内的	忘记/忘れる	35%
			外的	弄丢/無くす	43%
達成		内的	画一幅画/絵を一枚描く	41%	
名詞			高铁/高速鉄道	36%	
形容詞			平均/平均的	79%	

まず調査対象全員の成立の比率を見ると、自動詞の方では、内的誘因を持つ動作動詞の「泣く」と「笑う」は他の動詞と比べて、成立すると思っている人が著しく少ない。位置変化動詞の成立の比率は 34%であるが、「泣く」と「笑う」と比べると、それほど低くない。中国語の「笑」は自他同形の動詞であり、自動詞は「笑う」と同じ意味で、他動詞は「嘲笑う」の意味である。従来型受動文がすでに存在している。そして「哭」は自動詞だが、例文(6)で述べたように、従来型受動文も存在している。二つの動詞は従来型受動文が存在する動詞なので「被」を付けても従来型受動文として解釈されがちであるため、新型受動文と解釈されにくいと推測する。

他動詞の方では、状態の動詞はすべて 40%以下である。外的誘因を持つ動作動詞に関しては「切る」と「描く」が 40%に至らなかった。そして、内的誘因を持つ到達の動詞は成立すると思っている人は少なかった。名詞である「高速鉄道」は、実例は存在しているものの、成立すると思っている

人は37%しかいない。全体的にみると、26項目の中で、成立の比率が40%以上の項目は16であり、半数を超えた。

4.1. 年齢別の成立の比率

表3 年齢別の成立の比率

動詞/和訳	18歳以下	18~25	26~30	31~40	41~50	51~60	60歳以上
	成立の比率						
属于/属する	33%	43%	22%	44%	58%	67%	33%
悲伤/悲しい	33%	31%	22%	44%	75%	100%	33%
困/眠い	33%	49%	33%	22%	75%	100%	33%
哭/泣く	0%	11%	11%	22%	25%	17%	0%
笑/笑う	33%	9%	11%	22%	33%	33%	33%
打嗝/ゲップする	33%	40%	44%	22%	67%	67%	33%
发光(sparkle)/輝く	67%	26%	44%	33%	50%	50%	67%
开花(bloom)/花が咲く	33%	23%	44%	44%	67%	50%	33%
起床/起きる	0%	43%	44%	44%	67%	50%	0%
就业/就職する	67%	89%	89%	67%	100%	67%	67%
掉下/落ちる	33%	23%	11%	22%	58%	50%	33%
痊愈/全快する	67%	51%	33%	11%	83%	67%	67%
融化/溶ける	67%	43%	89%	44%	67%	67%	67%
爱/愛する	67%	40%	33%	22%	58%	50%	67%
拥有/持つ	33%	20%	33%	44%	58%	33%	33%
知道/知る	0%	40%	22%	11%	58%	33%	0%
说(speak)/話す	67%	34%	44%	11%	58%	17%	67%
切(cut)/切る	33%	11%	0%	33%	25%	33%	33%
洗/洗う	0%	34%	33%	33%	58%	83%	0%
推/押す	33%	37%	44%	33%	50%	50%	33%
画/描く	0%	26%	44%	33%	67%	33%	0%

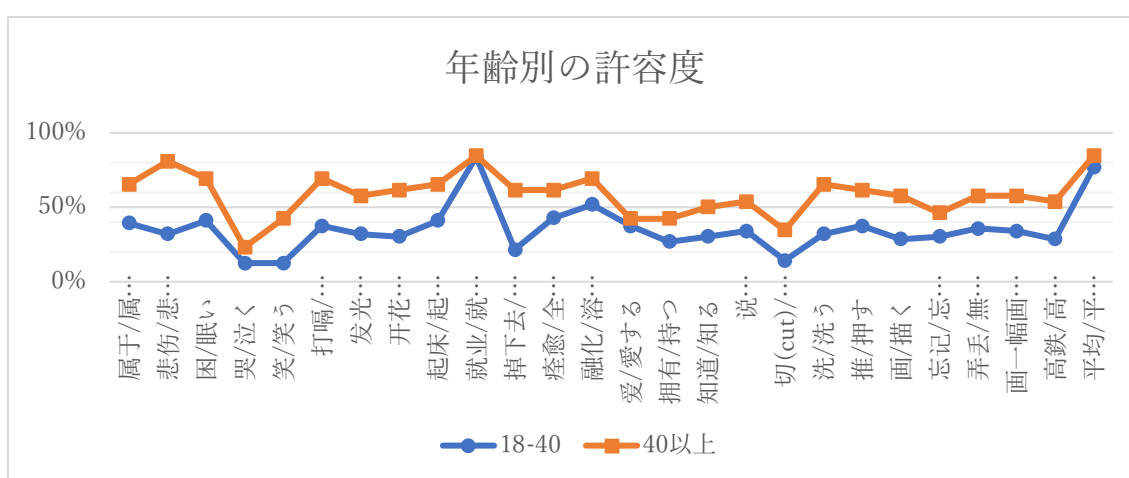
忘记/忘れる	33%	31%	22%	33%	33%	33%	33%
弄丢/無くす	0%	43%	22%	33%	50%	50%	0%
画一幅画/絵を一枚描く	67%	31%	33%	33%	58%	67%	67%
高鉄/高速鉄道	0%	26%	22%	56%	58%	50%	0%
平均/平均的	67%	80%	78%	67%	100%	67%	67%

表 4 年齢別の成立の比率(2グループ)

動詞/和訳	18~40			40歳以上		
	成立	不成立	成立の比率	成立	不成立	成立の比率
属于/属する	22	34	39%	17	9	65%
悲伤/悲しい	18	38	32%	21	5	81%
困/眠い	23	33	41%	18	8	69%
哭/泣く	7	49	13%	6	20	23%
笑/笑う	7	49	13%	11	15	42%
打嗝/ゲップする	21	35	38%	18	8	69%
发光(sparkle)/輝く	18	38	32%	15	11	58%
开花(bloom)/花が咲く	17	39	30%	16	10	62%
起床/起きる	23	33	41%	17	9	65%
就业/就職する	47	9	84%	22	4	85%
掉下去/落ちる	12	44	21%	16	10	62%
痊愈/全快する	24	32	43%	16	10	62%
融化/溶ける	29	27	52%	18	8	69%
爱/愛する	21	35	38%	11	15	42%
拥有/持つ	15	41	27%	11	15	42%
知道/知る	17	39	30%	13	13	50%
说(speak)/話す	19	37	34%	14	12	54%
切(cut)/切る	8	48	14%	9	17	35%
洗/洗う	18	38	32%	17	9	65%
推/押す	21	35	38%	16	10	62%

画/描く	16	40	29%	15	11	58%
忘记/忘れる	17	39	30%	12	14	46%
弄丢/無くす	20	36	36%	15	11	58%
画一幅画/絵を一枚描く	19	37	34%	15	11	58%
高铁/高速鉄道	16	40	29%	14	12	54%
平均/平均的	43	13	77%	22	4	85%

図1 年齢別の許容度



年齢別の成立の比率について、7 グループに分けているが、40 歳を境目に見てみると、「40 歳以上」のグループではほぼ全項目の成立の比率が 40%を超えたのに対し、「18-40」のグループでは、少数の項目だけが 40%を超えた。したがって、新型受動文の使用は年齢に影響されていると思われる。細かくみると成立の比率が 40%を超えたのは感覚と状態変化と達成の自動詞である。形容詞の「平均的」も 77%の人は成立するを選択した。

「18-40」のグループで成立の比率が 40%を超えた項目は全部6項目だが、5項目は自動詞である。他動詞の方は全ての項目において成立の比率が 40%以下である。折れ線グラフから、二つのグループで各動詞の許容度の順がほぼ同じである。この結果から、二つの傾向が指摘できる。一つは、若年層において、アスペクトにより許容度は変わるが、新型受動文は確実に使われている。到達と達成の自動詞は比較的受け入れやすい。2点目は、従来型受動文が存在している他動詞や自動詞から派生される新型受動文が受け入れにくいことである。

4.2. 学歴別の成立の比率

表 5 学歴別の成立の比率

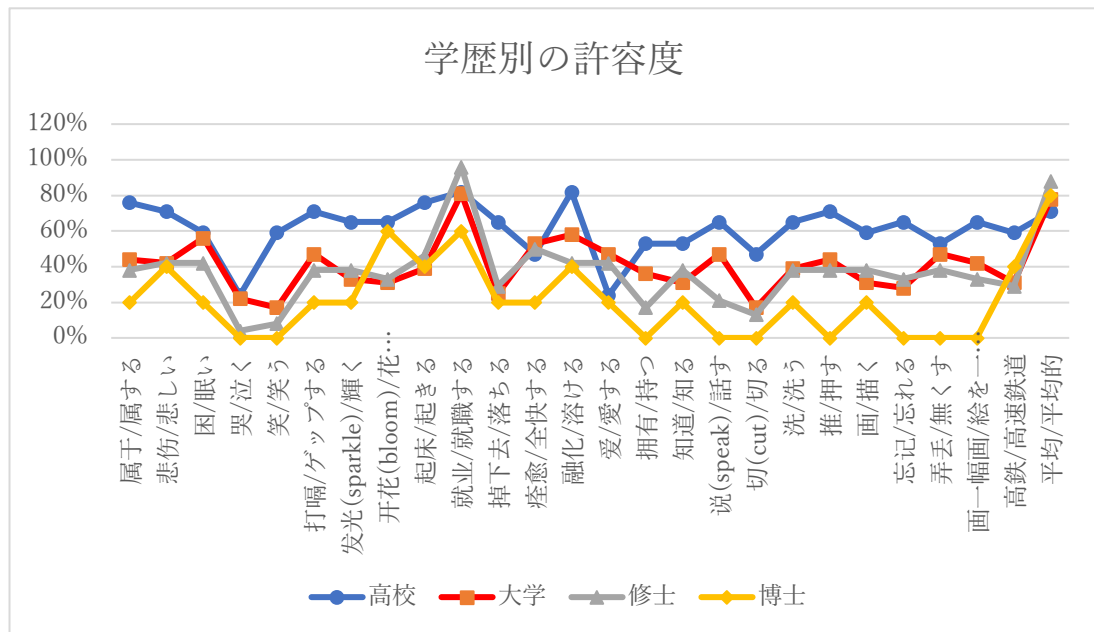
動詞/和訳	高校修了		大学修了		修士修了		博士修了	
	成立	成立の 比率	成立	成立の 比率	成立	成立の 比率	成立	成立の 比率
属于/属する	13	76%	16	44%	9	38%	1	20%
悲伤/悲しい	12	71%	15	42%	10	42%	2	40%
困/眠い	10	59%	20	56%	10	42%	1	20%
哭/泣く	4	24%	8	22%	1	4%	0	0%
笑/笑う	10	59%	6	17%	2	8%	0	0%
打嗝/ゲップする	12	71%	17	47%	9	38%	1	20%
发光(sparkle)/輝く	11	65%	12	33%	9	38%	1	20%
开花(bloom)/花 が咲く	11	65%	11	31%	8	33%	3	60%
起床/起きる	13	76%	14	39%	11	46%	2	40%
就业/就職する	14	82%	29	81%	23	96%	3	60%
掉下去/落ちる	11	65%	9	25%	7	29%	1	20%
痊愈/全快する	8	47%	19	53%	12	50%	1	20%
融化/溶ける	14	82%	21	58%	10	42%	2	40%
爱/愛する	4	24%	17	47%	10	42%	1	20%
拥有/持つ	9	53%	13	36%	4	17%	0	0%
知道/知る	9	53%	11	31%	9	38%	1	20%
说(speak)/話す	11	65%	17	47%	5	21%	0	0%
切(cut)/切る	8	47%	6	17%	3	13%	0	0%
洗/洗う	2	12%	14	39%	9	38%	1	20%
推/押す	12	71%	16	44%	9	38%	0	0%
画/描く	10	59%	11	31%	9	38%	1	20%
忘记/忘れる	11	65%	10	28%	8	33%	0	0%

弄丢/無くす	9	53%	17	47%	9	38%	0	0%
画一幅画/絵を一枚描く	11	65%	15	42%	8	33%	0	0%
高铁/高速鉄道	10	59%	11	31%	7	29%	2	40%
平均/平均的	12	71%	28	78%	21	88%	4	80%

表 6 年代別の学歴

	高校修了	大学修了	修士修了	博士修了	合計
18歳以下	2	1	0	0	3
18-25	0	18	17	0	35
26-30	0	7	2	0	9
31-40	2	1	3	3	9
41-50	4	5	1	2	12
51-60	2	3	1	0	6
60歳以上	7	1	0	0	8
合計	17	36	24	5	82

図 2 学歴別の許容度



まず、最終学歴が高校修了の調査協力者における成立の比率は明らかに他のグループより高い。4項目を除いて、全部50%を超えている。大学修了の方は5項目の成立の比率が50%を超えている。そして修士修了と博士修了はどちらも3項目が50%を超えている。折れ線グラフも作ったが、折れ線グラフをみると、大学修了と修士修了学歴の調査協力者における成立の比率はほぼ同じレベルになっている。そして、高校卒業の人の成立の比率より低く、博士修了の人の成立の比率より高い。この結果から、学歴が高くなれば新型受動文の成立の比率が低くなることがわかる。

学歴が高校修了の調査協力者における成立の比率の中、ほぼ全項目が50%を超えているのに対し、「泣く」と「愛する」の成立の比率は最も低く、24%になっている。このような結果になっている理由は二つある。一つ目は、「泣く」と「愛する」は内的誘因を持つ動詞であることだ。「泣く」のシチュエーションと例文は以下である。

(14) 哭/泣く

场景:他收到了意想不到的生日礼物。

シチュエーション:彼は予想外の誕生日プレゼントをもらった。

例文:他高兴地被哭了。

例文:彼は嬉しくて泣かされた。

「泣く」は自動詞でありながら、内的誘因を持つ動詞でもある。内的誘因を持つ動詞は出来事が外的誘因に制御されておらず、登場する人だけがその出来事を制御しているので、外的誘因で被害を受けたり、不本意な動きをさせたり、こういった意味を表すのは難しい。したがって、新型受動文が作りにくい。実際、不成立を選択した人が成立すると思っている文は殆ど受動を使わず、(15)のような能動文を使う。

(15) 他高兴地哭了。

彼は嬉しくて泣いた。

「愛する」のシチュエーションと例文は以下である。

(16) 爱/愛する

场景:朋友的丈夫有了外遇,两个人之间早就没了感情。但是为了孩子,还是没有离婚

シチュエーション:友たちの主人が浮気した。二人の間はとっくに感情がなくなったが、子供のために離婚していない。

例文: 互相被愛着对方。

例文: お互い愛させられている。

「愛する」は他動詞ではあるが、感情を表す他動詞であり、内的誘因を持つ動詞である。感情は完全に自分がコントロールするものなので、外的誘因が影響していると言っても、最終的に決めるのは自分であり、誰かに人や物を愛させられるのはどの場合でも成立できない。それゆえにこの動詞からは新型受動文が派生しにくいのだろう。そして、調査協力者が作った文の中でも、「お互いが愛し合うふりをしている」や「そもそも文が作れない」と言った答えをもらった。

4.3. SNS 使用状況別の成立の比率

表 7 SNS 使用状況別の成立の比率

動詞/和訳	使わない		あまり使わない		時々使う		よく使う	
	成立	成立の比率	成立	成立の比率	成立	成立の比率	成立	成立の比率
属于/属する	3	100%	3	75%	4	33%	29	46%
悲伤/悲しい	3	100%	4	100%	2	17%	30	48%
困/眠い	3	100%	1	25%	3	25%	34	54%
哭/泣く	1	33%	0	0%	1	8%	11	17%
笑/笑う	3	100%	4	100%	1	8%	10	16%
打嗝/ゲップする	3	100%	4	100%	3	25%	29	46%
发光(sparkle)/輝く	3	100%	4	100%	3	25%	23	37%
开花(bloom)/花が咲く	3	100%	4	100%	4	33%	22	35%
起床/起きる	3	100%	4	100%	4	33%	29	46%
就业/就職する	3	100%	4	100%	8	67%	54	86%

掉下/落ちる	3	100%	4	100%	1	8%	20	32%
痊愈/全快する	2	67%	1	25%	3	25%	34	54%
融化/溶ける	3	100%	3	75%	7	58%	34	54%
爱/愛する	2	67%	1	25%	4	33%	25	40%
拥有/持つ	2	67%	1	25%	1	8%	22	35%
知道/知る	2	67%	3	75%	3	25%	22	35%
说(speak)/話す	3	100%	4	100%	7	58%	19	30%
切(cut)/切る	2	67%	2	50%	2	17%	11	17%
洗/洗う	2	67%	4	100%	2	17%	27	43%
推/押す	3	100%	4	100%	5	42%	25	40%
画/描く	2	67%	2	50%	5	42%	22	35%
忘记/忘れる	2	67%	3	75%	4	33%	20	32%
弄丢/無くす	2	67%	4	100%	5	42%	24	38%
画一幅画/絵を一枚描く	2	67%	3	75%	4	33%	25	40%
高铁/高速铁路	1	33%	2	50%	3	25%	24	38%
平均/平均的	2	67%	4	100%	8	67%	51	81%

SNS の使用状況にかかわらず、新型受動文の許容度が高いのは、外的誘因による達成の自動詞(溶ける、就職する)と外的誘因を持つ動作他動詞「押す」、そして形容詞「平均的」が述語の場合である。「SNS を使わない」を選択した人は全員 50 代以上の方で、「SNS をあまり使わない」を選択した人も 3 人が 60 代以上の方なので、この 2 項を選択した場合、年齢と関係があると考えた方が自然だと思う。

ここでは「SNS をよく使う」と「SNS を時々使う」を中心に分析する。「SNS をよく使う」を選択した人の中で、ほぼ半分の人が状態、動作と到達の自動詞の新型受動文が成立すると選択した。それに対して、「SNS を時々使う」を選択した人の中で、同じ項目で成立の比率が 40%に至ったものはない。他動詞や名詞、形容詞の方も差はあるが、これほど著しくない。新型受動文は「就職する」から始まったと思われるので、自動詞の新型受動文を典型的だと考えたほうが妥当だろう。新型受動文の成立には SNS 使用状況が影響していると考えられる。よく SNS の使う人たちは新しいものと接触

するチャンスが多い。そして、言語が変化する前線はネットだと考えられ、よく SNS を使う人の新型受動文の許容度が比較的高い。

5. 動詞文法的属性に基づく分析

次は動詞の文法的属性に基づいて分析する。下にある表は認める人が多い順で並べ替えた結果になっている。

表 8 動詞の文法的属性と成立の比率

動詞/和訳	品詞	アスペクト	内的・外的	従来型受動文が存在するか	成立	成立の比率
就業/就職する	自動詞	到達	外的	存在しない	69	84%
平均/平均的	形容詞			存在しない	65	79%
融化/溶ける	自動詞	達成	外的	存在しない	47	57%
困/眠い	自動詞	状態	内的	存在しない	41	50%
起床/起きる	自動詞	到達	内的	存在しない	40	49%
痊愈/全快する	自動詞	達成	内的	存在しない	40	49%
属于/属する	自動詞	状態	内的	存在しない	39	48%
悲伤/悲しい	自動詞	状態	内的	存在しない	39	48%
打嗝/ゲップする	自動詞	動作	内的	存在しない	39	48%
推/押す	他動詞	動作	外的	存在する	37	45%
洗/洗う	他動詞	動作	外的	存在する	35	43%
弄丢/無くす	他動詞	到達	外的	存在する	35	43%
画一幅画/絵を一枚描く	他動詞	達成	内的	存在しない	34	41%
发光(sparkle)/輝く	自動詞	動作	内的	存在しない	33	40%
开花(bloom)/花が咲く	自動詞	到達	内的	存在しない	33	40%
说(speak)/話す	他動詞	動作	内的	存在する	33	40%
爱/愛する	他動詞	状態	内的	存在する	32	39%

画/描く	他動詞	動作	外的	存在する	31	38%
知道/知る	他動詞	状態	内的	存在する	30	37%
高鉄/高速鉄道	名詞			存在しない	30	37%
忘记/忘れる	他動詞	到達	内的	存在する	29	35%
掉下去/落ちる	自動詞	到達	外的	存在しない	28	34%
拥有/持つ	他動詞	状態	内的	存在する	26	32%
笑/笑う	自動詞	動作	内的	存在する	18	22%
切(cut)/切る	他動詞	動作	外的	存在する	17	21%
哭/泣く	自動詞	動作	内的	存在する	13	16%

新型受動文で「被」が付く述語の品詞に着目すると動詞が最も容認度が高いことが表 8 からわかる。動詞の次に容認度が高いのが形容詞であり、それに名詞が続く。

動詞の自他の関しては、上位にある動詞は自動詞が圧倒的多く、「押す」から最後まで他動詞と自動詞が交互に現れている。自動詞は他動詞より新型受動文に使いやすいことがわかる。しかし、下位にある「落ちる」、「笑う」、「泣く」を見ると、全ての自動詞が新型受動文に使えるとは限らず、新型受動文における自動詞の優位性には限界があることもわかる。上位にある「就職する」と「平均的」は実例が存在している。

形容詞の「平均的」と名詞の「高速鉄道」に関しては、どちらも実例が存在しているが、成立の比率はそれぞれ 79%と 37%で、大きな差が存在する。形容詞が名詞より新型受動文を派生しやすいこと背景にはどのような要因があるのだろうか。

穆・駱(2016)は新型受動文の成立理由が構文自体からの強制であると指摘した。即ち、強制(coercion)の作用によって、「被」の後ろにある部分はあたかも他動詞のような振る舞いをするようになる。自動詞の場合では、動作の担い手が主語であり、文脈の情報がこの動作をさせる人あるいはこの状況に陥らせる人が含意され、強制の作用で主語に被使役者の解釈が与えられることによって、使役受動の解釈の新型受動文が成立する。例えば、例文(8)は「李国富が自殺した」という出来事を表すが、ニュースの文脈によって「李国富は誰かの脅迫を受け、自殺させられた」の意味か、「李国富は誰かに殺されたが、自殺したと報道されている」の意味か、という二つの解釈が生じる。

形容詞に「被」が付くかたちの新型受動文の場合も、自動詞から派生した新型受動文と同様の強制によって成立過程を分析することができる。例えば、(13)の例の形容詞「平均」は、語彙的には average(x)のような意味構造を持つものと考えられるが、強制により使役事象を付加され、「平均」

の意味的な主語が被使役者の解釈を持つようになり、「(実際には格差があるにもかかわらず)平均的であることにさせられた」という使役受動の解釈を持つようになるのである。

自動詞と形容詞は共通のメカニズムにより新型受動文が派生されるが、(12)のような名詞述語の場合、新型受動文を派生するために使役事象の付加以外の意味的な操作も必要になる。「市民们」(市民たち)は「高铁」(高速鉄道)の間に叙述関係が成立していない。つまり「市民たちは高速鉄道である」は成り立たない。この二つの要素を関係づけるには「利用する」のような意味の述語を想定し、「高速鉄道」を手段として解釈する必要がある。このような意味的な補充と使役受動の解釈が合わさることにより、(12)に「市民たちは高速鉄道に乗らされる」という解釈が生まれる。つまり、(12)の名詞を使った新型受動文は、自動詞や形容詞をもとに派生された新型受動文よりも多くの意味的な操作を必要とする分、複雑である。このような意味的な複雑さが名詞をもとに派生した新型受動文の容認度を低くしている可能性がある。新聞などで十分な情報を得ていない場合、(12)のような新型受動文は解釈が難しいだろう。

アスペクトに関しては、到達、達成と状態の動詞が上位に来る。動作動詞は下位に来る場合が多い。また、アスペクトに関しては新型受動文と従来型受動文の違いが見られる。従来型受動文は主語が受けた影響が強調されるので、述語動詞或いは述部は結果を表す必要があり、達成の動詞が従来型受動文を作りやすいと指摘されている。一方、新型受動文では状態の方が上位にある。

動詞の意味における内的誘因と外的誘因においては、26 例の中で、外的誘因を持つ動詞は 8 例しかない。これに対して、成立の比率が 40%以上の 13 例の中で、外的誘因を持つ動詞が 5 例(62.5%)であり、内的誘因を持つ動詞が 8 例(44.4%)である。二つの属性が最後まで交互で現れているが、上位の方に外的誘因を持つ動詞が多く、下位の方に内的誘因を持つ動詞が多い。内的誘因を持つ動詞は出来事が外的誘因に制御されておらず、登場する人だけがその出来事を制御しているので、外的誘因で被害を受けたり、不本意な動きをさせたりといった意味を表すのは難しい。したがって、新型受動文が作りにくい。

従来型受動文が存在する動詞は従来型受動文が存在しない動詞に比べて新型受動文を形成しにくい。これに関しては、まず動詞の自他と関係があると考えられる。新型受動文の許容度が高い述語には動詞が多く、そして殆どの自動詞は従来型受動文が存在しない。自動詞の中では、「ゲップする」と「笑う」、「泣く」はともに動作自動詞でありながら、許容度には大きな差が存在する。それぞれの成立の比率は 48%、22%と 16%である。この三つの動詞の違いは「ゲップする」には従来型受動文が存在しないが、「笑う」と「泣く」には従来型受動文が存在していることによるものと考えられる。中国語の「笑」は自他同形の動詞であり、自動詞は「笑う」と同じ意味で、他動詞は「嘲笑

う」の意味である。従来型受動文がすでに存在している。そして「哭」は自動詞だが、例文(6)で述べたように、従来型受動文も存在している。二つの動詞は従来型受動文が存在する動詞なので「被」を付けても従来型受動文として解釈されがちであるため、新型受動文と解釈されにくいと推測できる。「ゲップする」には従来型受動文が存在しないため、新型受動文の解釈しかできないと推測する。

6. おわりに

中国語における新型受動文の使用状況および動詞の文法的属性とその成立の関係を調べるためにアンケート調査を行った。

使用状況と個人の属性との関係は以下のとおりである。年齢が高い人の方が新型受動文の許容度が高い。学歴が高くなれば新型受動文の許容度は低くなる。よく SNS を使う人の新型受動文の許容度は比較的高い。

動詞の文法的属性と新型受動文の成立の関係は以下のとおりである。自動詞は他動詞より新型受動文に使いやすいが、全く使えない自動詞も存在する。劉・趙(2009)によると新型受動文が出現した当初は派生もとの述語がほぼ自動詞に限られていたが、今では他動詞も使えるようになっており、形容詞述語と名詞述語から派生した新型受動文を認める人も少なくない。アスペクトにおいては、動作動詞が一番新型受動文に使いにくい。達成と到達の動詞はほぼ同じレベルで、状態より使いやすい。動詞の意味における内的誘因と外的誘因に関しては内的誘因を持つ動詞が比較的新型受動文に使いやすい。一番はっきり言えるのは、従来型受動文が存在しない動詞は従来型受動文が存在する動詞より新型受動文に使いやすいことである。

今回の調査協力者の年齢分布は均等ではなかった。年齢層ごとの人数は差が大きい。これは調査結果に影響する可能性がある。そしてアスペクトごとの動詞の数も不足、アスペクトによる傾向ははっきりさせることはできなかった。これらの点を改善することを今後の課題にしたいと考えている。

謝辞

本研究を進めるに当たり、指導教員の佐々木冠教授からは多大な助言を賜った。厚く感謝申し上げます。また、調査をするに当たり協力してくださった方々に感謝の意を表す。

参照文献

- 陳文博(2010)「汉语新兴“被+x”结构的语义认知解读」『当代修辞学』4: 80-87.
- 範劍華(1990)「论现代汉语被动式」『华东师范大学学报(哲学社会科学版)』87: 83-91.
- 憑地云(2010)「“被 xx”的形成及其原因阐释」『文学界』5: 132-134.
- 劉斐・趙国軍(2009)「“被时代”的“被组合”」『修辞学习』5: 74-81.
- 劉叔新(1987)「现代汉语被动句的范围和类别问题」『句型和动词』中国社会科学院语言研究室編. 139-150. 语文出版社
- 王燦龍(2009a)「“被”字的另类用法」『语文建设』4: 65-66.
- 王燦龍(2009b)「“被就业”并不等于“被迫假就业”」『语文建设』10: 57-58.
- 王寅(2011)「“新被字构式”的词汇压制解析-对“被自愿”一类新表达的认知构式语法研究」『外国语』34(3): 13-20.
- 張明輝(2010)「论时下流行构式“被 xx”」『广东技术师范学院学报』3: 85-87.
- 張淑慧(2006)「基于构式语法的现代汉语被子句式句法语义研究」硕士学位论文. 北京师范大学.
- 尹洪波(2012)「汉语被动句研究说略」『日本語と中国語のヴォイス』日中対照言語学会編. 252-265. 白帝社.
- 王学群(2012)「中国語の“被留学”について」『日本語と中国語のヴォイス』日中対照言語学会編. 269-282. 白帝社.
- 木村英樹(1982)『被動と「結果」』『日本語と中国語の対照研究』5: 27-46.
- 木村英樹(1992)「被受身文の意味と構造」『中国語』389: 10-15.
- 穆欣・駱牛牛(2016)「中国語における『被○○』構文について : 認知言語学と対照言語学の視点から」『異文化研究』10: 22-34.
- 路浩宇(2013)「中国語の自動詞述語受身表現について : インターネットで用いられる“被就业”のタイプを例として」『NU ideas』2(1): 22-31.
- Dowty, David R. 1979. *Word Meaning and Montague Grammar*. Dordrecht: Kluwer Academic Publishers.
- Smith, Carlota (1970) “Jespersen’s ‘Move and Change’ Class and Causative Verbs in English,” In: M. Ali Jazayery, Edgar Polomé and Werner Winter (eds.), *Linguistic and Literary Studies in Honor of Archibald A. Hill*. 101–109, The Hague: Mouton.
- Vendler, Zeno (1957) Verbs and times. *The Philosophical Review* 66: 143-160.

付録

調査票

您的个人信息将只会用于科学研究。我们会严格管理数据，没有本人的同意，我们将不会向第三方提供您的个人信息。

記載していただいた個人情報、研究以外の目的には使用しません。ご本人の同意がなければ第三者に個人情報を提供することもございません。取得した個人情報は責任をもって管理いたします。

性別 () 年齢 ()

出生城市 () 居住城市 ()

职业 () 学历 ()

平时会在网上看一些时事新闻吗

A.经常看 B.偶尔看 C.不看

使用社交媒体的频率

A.经常使用 B.偶尔使用 C.不怎么使用 D.不使用

性別 () 年齢 ()

出身地 () 今住んでいる町 ()

職業 () 學歷 ()

普段はネットでニュースを読みますか？

A.よく読む B.時々読む C.読まない

どんな頻度でSNSを使っていますか

A.よく使う B.時々使う C.あまり使わない D.使わない

在下列的场景下，给出的例文成立吗？如果不成立，请在B的空栏用标题给出的动词写下你认为正确的句子。

下記の状況において、例文は言えますか。もし言えないでしたら、同じ状況はどのように言いますか？

1. 属于/属する

场景:我本是 A 公司的员工, 为了刺探商业机密, 被上司要求辞职后加入 B 公司。

例文:我现在“被隶属”于 B 公司。

A.成立

B.不成立()

2. 悲伤/悲しい

场景:我正在参加讨厌的那个人的葬礼。

例文:我只好“被悲伤”一下

A.成立

B.不成立()

3. 困倦/眠い

场景:我的酒中被下了安眠药。事后的第二天我才知道这件事情。

例文:难怪当时觉得突然很困。原来是被困的。

A.成立

B.不成立()

4. 哭/泣く

场景:他收到了意想不到的生日礼物。

例文:他高兴地被哭了。

A.成立

B.不成立()

5. 笑/笑う

场景:看电视的时候无意间看到了一档很怪的综艺节目。

例文:这个节目太滑稽了以至于我被笑了。

A.成立

B.不成立()

6. 打嗝/ゲップする

场景:我看见一个婴儿喝完牛奶,母亲轻轻地拍打他的后背,让他打嗝。

例文:这么说来我小的时候好像也被打嗝过。

A.成立

B.不成立()

7. 发光(sparkle)/輝く

场景:她在学校里是一个很出色的女生,成绩优异,乐于助人,是老师的好帮手,同学的好榜样。每次看见她我都觉得她在发光。可一个偶然的的机会他得知它的父亲因为一次事故落得了个终身残疾,母亲早早便抛弃她与父亲而去,改嫁了别的男人。为了不让父亲担心,她不得不坚强地以微笑面对每一天。

例文:那个时候他才明白,她的确在发光,但是“被发光”。

A.成立

B.不成立()

8. 开花(bloom)/花が咲く

场景:为了让花更早开,就把它拿进了温度更高的屋子里。

例文:屋子里暖和,所以才能在现在这个时间“被开花”。

A.成立

B.不成立()

9. 起床/起きる

场景:难得的星期天,可大清早妈妈来房间拉开窗帘,掀了我被子。

例文:我只好被起床了。

A.成立

B.不成立()

10. 就业/就職する

场景:我明明不想去那家公司。可学校却在背地里替我签了合同。

例文:我被就业了。

A.成立

B.不成立()

11. 掉下去/落ちる

场景:那时候爷爷踩在梯子上修房顶。突然地震来了。

例文:爷爷被掉了下去。

A.成立

B.不成立()

12. 痊愈/全快する

场景:按照这个伤势本该住院一个月的,可这才两周公司就急着喊我回来上班。

例文:我是被痊愈的。

A.成立

B.不成立()

13. 融化/溶ける

场景:商场停电了。

例文:溜冰场的冰因为商场停电被融化了。

A.成立

B.不成立()

14. 爱/愛する

场景:朋友的丈夫有了外遇,两个人之间早就没了感情。但是为了孩子,还是没有离婚。

例文:互相被爱着对方

A.成立

B.不成立()

15. 拥有/持つ

场景:家里有一个用了 30 年的洗衣机。每次搬家的时候我都想丢掉再买个新的。可外婆一直不让。说这个洗衣机见证了他们努力的岁月。

例文:我家被拥有一个用了 30 年的洗衣机。

A.成立

B.不成立()

16. 知道/知る

场景:在房间午睡的我被客厅传来的声音吵醒。父母在争吵着什么。虽然他们好像在有意放低声音,但我仍然听到了那个秘密。我并不是他们的亲生孩子。

例文:从那天起我就被知道了这个秘密。

A.成立

B.不成立()

17. 说(speak)/話す

场景:在战争中被我被俘虏了。

例文:在敌人的严刑逼供下,我被说了实话。

A.成立

B.不成立()

18. 切(cut)/切る

场景:我在一家餐厅的厨房上班。来这家餐厅工作是为了能当厨子做菜。

例文:来这里工作以后我一直在被切菜,毫无机会掌勺。

A.成立

B.不成立()

20. 洗/洗う

场景:下午我本想跟朋友去打篮球的,但是妈妈让我洗衣服。

例文:前几次也都是,每次我要出门的时候都会被洗衣服。

A.成立

B.不成立()

21. 推/押す

场景:本想去打球的,现在却在超市。

例文:现在我却被推着一辆手推车在超市跟妈妈一起买东西。

A.成立

B.不成立()

22. 画/描く

场景:以前每周只用画一幅画的,现在老师却让我们每天画一幅。

例文:最近我每天都在被画画。

A.成立

B.不成立()

23. 忘记/忘れる

场景:过度的惊吓让我失去了那段记忆。

例文:我被忘记了那时候的事情。

A.成立

B.不成立()

24. 弄丢/無くす

场景:今天早晨的地铁站很挤。

例文:我被弄丢了钱包。

A.成立

B.不成立()

25. 画一幅画/絵を一枚描く

场景:他绑架了那个有名的画家的儿子,想要一幅画家的画。

例文:那个画家只好被画了一幅画。

A.成立

B.不成立()

26.被高铁(名词)

场景:原本有普通列车路过这个城市,可有关部门改制后,就只剩下高铁了。

例文:市民们被高铁。

A.成立

B.不成立()

27.被平均(average)(形容词)

场景:国家统计局发布数据称中国人均储蓄 3 万元。

例文:网友表示被平均。

A.成立

B.不成立()